

高岡市立博物館年報

第 38 号

令和 5 年度

高岡市立博物館

は じ め に

高岡市立博物館は、当地の歴史・民俗・伝統産業にかかる資料の収集・保管、展示、また調査研究や教育普及など、さまざまな事業の継続と充実に努めています。今年度も多岐にわたる事業を実施しました。

展示事業では、常設展「高岡ものがたり」（通年開催）では、高岡の歴史・民俗・伝統産業の分かりやすい紹介に努め、常設展内のお宝コーナーでは、5回のミニ展示を順次開催しました。前年度末から7月中旬にかけて開催した館蔵品展「昔の道具とくらし」では、当館が収蔵する古い生活道具類「民具」を展示・紹介しました（特集展示コーナーでは嫁のれんを展示）。また7月末から開始した特別展「浮世絵に描かれた加越能 ～佐伯コレクションの世界～」では、富山県を代表する郷土の浮世絵コレクターである佐伯孝夫氏（福岡町在住）が所蔵する浮世絵（相撲絵・風景画・人物画）を展示・紹介しました。11月から開始した企画展「富山新聞創刊100年記念 松原秀典展」では、高岡市出身のアニメーター・松原秀典氏が作画監督・キャラクターデザインを手掛けた原画やカラーイラストのほか、初出しの貴重なキャラクター設定資料など300点以上を展示・紹介しました。2月からの館蔵品展「昔の道具とくらし」では、恒例の民具等を展示・紹介しました（特集展示コーナーでは懐かしの屋外広告「ホーロー看板」を展示）。

教育普及事業では、外部講師による郷土学習講座（全3講）、特別展講演会（1回）、伝統産業講習会（1回）のほか、古文書講座（全6講）などを行いました。また、桜の開花時期にあわせた屋上開放「古城公園展望台」、当館茶室「松聲庵^{しょうせいあん}」で行う呈茶の会なども行いました。そのほか講師・委員の派遣、出演、寄稿、監修、制作協力等のほか、高岡テクノドームでの博物館サテライトギャラリーも引き続き実施しました。

資料収集・保存活動では、高岡の歴史・民俗・伝統産業等に関する資料の収集・保存に努めました。また昨年度から引き続き、高岡市太田の國泰寺（臨済宗國泰寺派大本山）より伝近藤勇所用当世具足等の資料の寄託を受けました。

調査研究活動では、日ごろ博物館に寄贈される資料の調査・整理に取り組みました。また昨年度に引き続き、国登録有形文化財「高岡鋳物の製作用具及び製品」の重要指定へ向けた当館収蔵の鋳物資料調査のほか、「産学官連携に基づいた地域資料継承支援事業」による高岡市伏木地区の古文書等歴史資料の調査研究活動も行いました。加えて当館収蔵資料情報のデジタル化を進め、計1,348件の資料情報をインターネット上で公開しました。

地域の歴史と文化の継承という博物館の任務には、決して終わりはありません。それは幅広い方々のご理解、ご協力があってこそ、初めて可能になります。職員一同、さらに親しまれる博物館を目指して努力を重ねて参ります。日頃からのご協力に厚くお礼を申し上げますとともに、今後とも当館事業に一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和7年2月

高岡市立博物館
館長 安東 浩志

目次	
I 事業の状況	
1 展示事業	
(1) 常設展「高岡ものがたりー楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアムー」	…1
(2) 館蔵品展「昔の道具とくらし」	…1
(3) 特別展「浮世絵に描かれた加越能 ～佐伯コレクションの世界～」	…1
(4) 企画展「富山新聞創刊100年記念 松原秀典展」	…2
(5) 館蔵品展「昔の道具とくらし」	…3
2 教育・普及事業	
(1) 特別展講演会（1回）、郷土学習講座（全3講）	…4
(2) 講座、展示説明会等	…6
(3) 屋上開放イベント、呈茶の会等	…7
(4) 刊行物の発行	…7
(5) 団体見学、展示解説対応	…8
(6) 他団体への協力	…8
(7) レファレンス	…13
(8) インターネット等による広報・普及	…13
3 収集・保存活動	
(1) 購入資料	…14
(2) 寄贈資料	…14
(3) 移管資料	…15
(4) 保存活動	…16
4 調査・研究活動	…16
5 高岡市立博物館に親しむ会との連携	…17
II 管理運営の状況	
1 職員名簿	…19
2 歳出予算	…19
3 高岡市立博物館協議会	…19
4 高岡市立博物館条例	…20
5 高岡市立博物館条例施行規則	…21
6 入館者数	…22
III 施設の状況	
1 沿革	…23
2 施設概要	…24
3 利用案内	…25

I 事業の状況

1 展示事業

(1) 常設展「高岡ものがたりー楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアムー」

〔会期〕 令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日) 〔310日間・通年開催〕

〔会場〕 本館第1・2常設展示室、休憩室

〔趣旨・内容〕

高岡の歴史、祭礼などの民俗、銅器・漆器などの伝統産業について、分かりやすい紹介に努めている。「民具コーナー」のほか、「お宝コーナー」では時宜に合わせて展示替えを行うなど、絶え間ない発信に努め、展示の充実を図った。

※高峰譲吉博士別荘「松楓殿」関係資料展示室(新館第3企画展示室)は通年で開催中。

<お宝コーナー>

①「古城の桜」(4月1日～5月7日)

②「石川数正が裏切った!どうする家康?」(5月20日～9月10日)

③「國泰寺のお宝② 西郷隆盛の書簡」(9月30日～11月26日)

④「新発見!高岡築城を許可する徳川秀忠書状(前田利長宛)」(12月9日～令和6年2月12日)

⑤「高岡の春」(令和6年3月16日～5月12日)

〔展示資料リスト〕(平成19年度年報に掲載)

(2) 館蔵品展「昔の道具とくらし」

〔会期〕 令和5年4月1日(土)～7月9日(日) 〔87日間〕

〔会場〕 新館第1企画展示室

〔趣旨・内容〕

本展では、当館収蔵の古い生活道具類「民具」を展示・紹介した。小学校3年の授業単位にも対応した。特集展示コーナーでは「嫁のれん」を展示・紹介した(令和5年2月4日より年度をまたいで開催したもの)。

〔ポスター・チラシ画像、展示風景〕(令和4年度年報に掲載)

(3) 特別展「浮世絵に描かれた加越能 ～佐伯コレクションの世界～」

〔会期〕 令和5年7月29日(土)～10月9日(月・祝) 〔63日間〕

〔会場〕 新館第1企画展示室

〔趣旨・内容〕

富山県を代表する郷土の浮世絵コレクター・佐伯孝夫氏(福岡町在住)のコレクション展。幕末に活躍した高岡戸出身の大関(当時最高位)階ヶ嶽龍右衛門などの「相撲絵」、初代歌川広重が伏木を描いた貴重な「風景画」のほか、源義仲や佐々成政など郷土の「人物画」を展示・紹介した。

〔印刷物〕

ポスター(B2版、片面4色刷、150枚)、チラシ(A4版、片面4色刷、2,000枚)、図録(A4版、4色刷、総頁数32、500部)

〔展示資料〕計68件70点

〔展示資料リスト〕(当館HPに掲載)



チラシ・ポスター



図録



展示風景

(4) 企画展「富山新聞創刊100年記念 松原秀典展」

〔会期〕 令和5年11月2日(木)～令和6年1月8日(月・祝) 〔54日間〕

〔会場〕 新館第1・2企画展示室

〔趣旨・内容〕

富山新聞創刊100年記念展。高岡市出身のアニメーター・松原秀典氏が作画監督・キャラクターデザインを手掛けた「この世界の片隅に」をはじめ、代表作でもある「サクラ大戦」、大ヒットした話題作「エヴァンゲリオン」シリーズの3作品に加え、高岡市観光大使「あみたん娘」などの原画やカラーイラストのほか、初出しの貴重なキャラクター設定資料など300点以上を展示・紹介した。



チラシ・ポスター



展示風景

(5) 館蔵品展「昔の道具とくらし」

〔会期〕 令和6年2月3日(土)～3月31日(日) 〔50日間〕

〔会場〕 新館第1企画展示室

〔趣旨・内容〕

本展では、当館収蔵の古い生活道具類「民具」を展示・紹介した。特集展示コーナーでは、懐かしの屋外広告「ホーロー看板」を展示した。小学校3年の授業单元にも対応した（次年度7月7日まで開催）。

〔展示資料〕 計80件90点

〔展示資料リスト〕（当館HPに掲載）



チラシ・ポスター



展示風景



2 教育・普及事業

(1) 特別展講演会(1回)

特別展「浮世絵に描かれた加越能 ～佐伯コレクションの世界～」の開催にあわせて開催した。

演 題 「浮世絵に描かれた越中の力士と風景」
日 時 9月2日(土) 午後2時～3時30分
会 場 新館3階講堂
講 師 佐伯 孝夫 氏(郷土浮世絵コレクター)
聴講者 22人



佐伯孝夫氏

要 旨 江戸時代の民衆文化・風俗を庶民側から描いた浮世絵版画は、江戸時代の第一級の民俗・風俗資料であり、それに加えて優れた芸術性を合わせ持ち、日本文化として世界に誇れる最も優れたものの一つである。江戸中期から明治期にかけて栄えた浮世絵文化の中で、僅かではあるが郷土富山県及び高岡市に関わる浮世絵がある。

「相撲絵」には幕末に活躍した現高岡市戸出身の大関(当時最高位)階ヶ嶽龍右衛門をはじめ、剣山や梅ヶ谷など現県東部出身力士の浮世絵が残り、当時の活躍を窺い知ることができる。「風景画」では、初代歌川広重が現高岡市伏木を描いた《山海見立相撲 越中古国府湊》(1858年)がある。本図は竹原春泉画『二十四輩順拝図会(越中越後三)』(1803年)収録の「古国府湊」を参考にしており、初代広重が江戸期に高岡を描いた唯一の浮世絵であることから大変貴重な資料であるといえる。

このほか3代歌川広重が明治初期の高岡銅器の製造・販売の繁盛ぶりを描く《大日本物産図会 越中国鉄物細工之図》(1877年)など、高岡の歴史を物語る貴重な資料が残っている。本展で紹介した郷土浮世絵が、故郷高岡の歴史に想いを馳せる一つの機会となってもらえれば大変嬉しく思う。

(文責・宇川)

郷土学習講座(全3講)

郷土の歴史・文化など幅広い分野について紹介し、理解を深めていただく連続講座を開催した。

〔第1講〕「砺波平野の歴史と散居村の成立」

※とやま呉西圏域連携事業としても開催
日 時 6月24日(土) 午後2時～3時30分
会 場 新館3階講堂(以下同)
講 師 高原 徹 氏(砺波郷土資料館 元館長)
聴講者 42人



高原徹氏

要 旨 散居村(散村)とは民家が散らばって点在する集落形態である。砺波平野の散居村の成り立ちは米作りをすることから始まる。砺波平野では家が点在して建てられており、それは水田の見回りの際にも都合がよく、また収穫後に稲を運んで家の中で作業がしやすい利点があるからである。

砺波平野は庄川扇状地により形成されており、川は長い年月を経て東遷西遷を繰り返している。現在の庄川の水の流れは、人為的に堤防を作った松川除(1670～1714年)により形成された流れであり、大雨の時には堤防を越えて元の川(千保川)へと流れこむこともあった。庄川の水が現在の東側へ流れるようになったことで、千保川は水量が少なくなり、開拓され、米も収穫できるようになったのである。

砺波平野の散居村は、自然による影響と米作りなど当時の人々の暮らしによる生活背景から成立したと捉えることができる。上流域に流れる川の流れにより、下流域にあたる高岡市の川も変遷している。それに加えて砺波平野で盛んに生産された米は高岡で消費されることも多く、こうした自然環境だけではなく、生活・文化面においても高岡と砺波は大きな繋がりを経てきたといえる。砺波平野の美しい散居村の風景を、今後も大切に守られていくことを強く願う。

(文責・鹿本)

〔第2講〕「高岡商人の人脈と地域社会ー近世・近代移行期の岡本清右衛門家の事例ー」

日 時 8月26日(土) 午後2時～3時30分
講 師 二谷 智子 氏 (愛知学院大学 経済学部 教授)
聴講者 55人

要 旨 岡本清右衛門家は「福岡屋」の屋号で知られる高岡の商家である。初代・福岡屋清八が1754年に大滝村(現高岡市福岡町)から横田町へ出て商売をしたのが始まりとされ、19世紀後半以降、岡本家は地域社会では信用ある商人として一目置かれる存在となっていく。

5代目は先代から続く繰綿取引に加え、配置売薬業、布買次業で事業を拡大するも、大坂商会の破綻で負債を抱えた。そこで6代目は売薬経営・質業・金融業と近江商人阿部市郎兵衛の布買次業を継続しつつ、近世以来の負債や不良債権、取引先を整理することに努め、1880年代以降は家業以外の巨額投資はせず、「堅固ナル保守主義」を貫いた。7代目は先代の監督下で保守主義を堅持して布取引を縮小させ、1889年から外国産石油の取引を開始した。販売先は射水・砺波郡内の村々や砺波郡の主要な町々で、木綿製造や呉服太物商、生糸製造卸を兼業した砺波郡の商人が石油販売業を兼業した。

岡本家が築いた布取引の人脈は、近代期の新商品である石油を販売する際に活かされ、新規販売先獲得のためのコストを節約できたと考えられる。20世紀の転換期においては、高岡周辺の地域経済で成長しつつある新興商人が遠隔地商人との取引でいまだ獲得していない信用を、岡本家が金融を仲介して補うことで、地域内の新興商人は遠隔地商人と取引関係を結ぶことができたともいえる。

(文責・山口)



二谷智子氏

〔第3講〕「高岡の地名についてー命名の意図を読み解くー」

日 時 11月11日(土) 午後2時～3時30分
講 師 中葉 博文 氏 (日本地名研究所 理事)
聴講者 54人

要 旨 「地名」とは土地の名称で二人以上の共通の符号であり、時代の変遷により命名された地名が消滅、又は改称せざるを得ない状況が発生することがある。

近世以前の高岡を表す地名に「関野」があるが、おそらくは地形から出た意味であろうと考えられる。「関(セキ)」は狭まった所という意味を持ち、「野(ノ)」の地名は「原(ハラ)」の付く地名同様、最も自然的でしかも一般的な自然地名である。近世以降の地名「高岡」の由来については、慶長14年(1609)5月付の史料に「高おか」とあり、これが「たかおか」(漢字表記では「高岳」とも)の初見ともいわれ、中国の『詩経』の中にみえる「鳳凰鳴矣于彼高岡」の「高岡」に由来すると伝えられる。また近世高岡町は、本町(35町)・地子町(22町)・散町(14町)などに分類され、それぞれの分類ごとに町名が定められてきた。

近代以降になると、高岡では明治・昭和・平成の大合併が進められ、多くの町名が改変・消滅した。しかし平成27年4月2日には「平米町」(前・本町)と袋町(前・大町)の旧町名が復活し、江戸期の町名が復活した県内初の快挙となっている。

今後、地域のコミュニティ活動を再生する話題の一つとして、各地域の歴史文化の魅力を語る、地元の地名・町名を意識することも良いのではないかと。本講演が一つのきっかけとなり、地元の地名・町名に興味・関心を持っていただけたら幸いである。

(文責・宇川)



中葉博文氏

(2) 講座、展示説明会等

① 特別展「浮世絵に描かれた加越能 ～佐伯コレクションの世界～」展示説明会（全3回）

回	日 時	講 師	受講人数
第1回	7月29日(土)午後2時～2時30分	佐伯 孝夫 氏 (郷土浮世絵コレクター)	20人
第2回	9月 9日(土) 〃		28人
第3回	10月 7日(土) 〃		20人

会場：新館第1企画展示室

② 伝統産業講習会（1回）

日 時	演 題	講 師	受講人数
8月5日(土) 午後2時～3時30分	「鉄瓶のお話と手入れ方法」	竹中 勝治 氏 (高岡銅器展示館 館長・鉄瓶屋 店長)	20人

会場：新館3階講堂

③ 古文書講座「初めての古文書教室」（全6講／受講者累計204人）

回	日 時	講 師	受講人数
第1講	9月 7日(木) 午後2時～3時30分	仁ヶ竹主幹	38人
第2講	9月21日(木) 〃		35人
第3講	10月 5日(木) 〃		36人
第4講	10月19日(木) 〃		28人
第5講	11月16日(木) 〃		32人
第6講	11月30日(木) 〃		35人

会場：新館3階講堂

④ 館蔵品展「昔の道具とくらし」展示説明会（全2回）

回	日 時	講 師	受講人数
第1回	2月3日(土) 午後2時～2時30分	宇川主任学芸員	10人
第2回	3月9日(土) 〃		3人

会場：新館第1企画展示室



伝統産業講習会「鉄瓶のお話と手入れ方法」



古文書講座「初めての古文書教室」

(3) 屋上開放イベント、呈茶の会等

① 屋上開放「古城公園展望台」(桜の満開時期に合わせて開催)

・日 時 令和5年3月31日(金)～4月2日(日)

各日午後1時～3時 ※親しむ会会員の監視ボランティア協力あり

・来場者数 計649人

② 「呈茶の会－博物館の松聲庵で抹茶を楽しみませんか－」(全2回)

日 時	席 主	参加者
4月8日(土) 午前10時～午後3時	福田 隆子 氏(古儀茶道藪内流高岡支部会員)ほか小嵐社中	146人
10月21日(土) 午前10時～午後3時	近藤 宗美 氏(裏千家名誉師範)ほか社中	126人

会場：当館茶室「松聲庵」



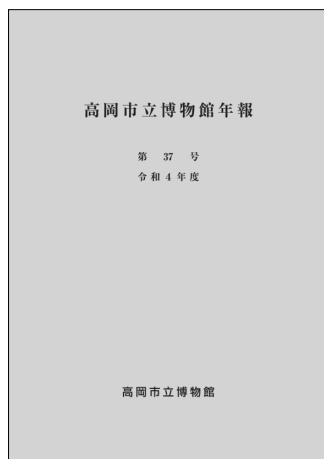
屋上開放「古城公園展望台」



呈茶の会(秋)

(4) 刊行物の発行

- ・図 録『特別展「浮世絵に描かれた加越能 ～佐伯コレクションの世界～」』(A4判、32頁、500部)
- ・機関誌『博物館だより』第30号(A4判、4頁、3,000部)
- ・年 報『高岡市立博物館年報』第37号(令和4年度)(A4判、27頁、200部)



『高岡市立博物館年報』第37号



「博物館だより」第30号

(5) 団体見学、展示解説対応

団体見学 計46件（計1,346人）、うち展示解説14回

(6) 他団体への協力

① 講師の派遣 計31件（39回）

〔講師派遣一覧〕

月 日	依頼者 会合名	演題・内容	講 師
4月8日	高岡ロータリークラブ 利長公シンポジウムⅡ「どうする高岡城跡！」	パネルディスカッションのパネラー	仁ヶ竹主幹
①4月15日、②5月6日	高岡フラワーライオンズクラブ ゲストスピーチ（2回）	①講演「高岡の国宝（瑞龍寺、勝興寺）」 ②講演「御車山祭り、国泰寺」	仁ヶ竹主幹
4月22日	下関校下健康づくり懇話会 史跡・スポット巡りの解説	内容「古城公園の史跡について」	仁ヶ竹主幹
4月27日、6月29日、 8月31日、10月26日、12月21日	伝統工芸高岡銅器振興協同組合 連続講座（5回）	講演「古文書から読み解く高岡鋳物の歴史」	仁ヶ竹主幹
5月9日	富山大学芸術文化学部 講義「文化政策概論」	内容「博物館の設立経緯とその役割」、 常設展示解説	仁ヶ竹主幹
5月20日	国宝瑞龍寺保存会・瑞龍寺 「利長忌」講演会	講演「古文書から見える瑞龍寺」	仁ヶ竹主幹
5月24日	高志塾（北陸銀行） 常設展示解説	内容「高岡の歴史と文化」	仁ヶ竹主幹
5月26日	瑞龍寺夢参道まち衆会 講演会	講演「高岡城と瑞龍寺」	仁ヶ竹主幹
5月27日	富山新聞文化センター 高岡ふるさと探訪シリーズ講座「国宝勝興寺を知る」 （全6回）第6回講座	講演「古文書に残された加賀藩主のメッセージ ～勝興寺文書と利長、利常、綱紀、治脩～」	仁ヶ竹主幹
6月23日	高岡市立野村公民館・野村地区生涯学習推進協議会 萩野学級	講演「高岡の幕末維新について」	仁ヶ竹主幹
7月29日	富山県民生涯学習カレッジ高岡地区センター つながる学びわくわく講座＜つながる体験コース＞ 「なるほど！高岡古城公園」（現地研修）	座学・常設展示解説「高岡市立博物館の 魅力」	仁ヶ竹主幹
8月12日	富山新聞文化センター ふるさと探訪シリーズ講座「加賀藩・富山藩を知る 越中編」（全7回）第3回講座	講演「高岡開町ストーリー 利長と利常 ～利長が開き、利常が発展させた商都～」	仁ヶ竹主幹
8月19日	富山県通訳案内士協会 「高峰譲吉」研修	講演「高峰譲吉と富山県」	仁ヶ竹主幹
9月8日	高岡向陵高等学校 探求的学習（1学年）	講演「高岡城下町の魅力と課題」	仁ヶ竹主幹
9月30日	（公財）高岡市民文化振興事業団 令和5年度高岡市生涯学習センター講座	講演「真宗寺院の日常 ～勝興寺触頭文 書から～」	仁ヶ竹主幹
10月4日	高岡志貴野ライオンズクラブ 10月第1例会 講演会	講演「高岡城跡の歴史と保全」	仁ヶ竹主幹
10月13日	南砺市生涯学習スポーツ課 令和5年度南砺市市民大学後期講座「ふるさと見 聞シリーズB」	「越中国高岡関野神社祭礼繁昌略図」 など常設展示解説	仁ヶ竹主幹
10月14日	国宝指定記念勝興寺企画展実行委員会 「縁 YUKARI -歴史を支えた人々-」記念講演会	講演「尊丸（前田治脩）得度上洛書留を読む」	仁ヶ竹主幹
11月4日	戸出御旅屋の門保全会 戸出御旅屋の門の復元・移築10周年記念講演会	講演「加賀藩の御旅屋について -戸出御 旅屋を中心に-」	仁ヶ竹主幹
11月9日	砺波市教育委員会 とやま呉西圏域連携事業「歴史文化の学び交流 事業」・砺波市民大学「学遊塾」	講演「歴史都市・日本遺産『高岡』の魅力」	仁ヶ竹主幹

月 日	依頼者 会合名	演題・内容	講 師
11月12日	高岡市立是戸公民館 第9回は戸文化祭 講演会	講演「是戸について」	仁ヶ竹主幹
11月18日	特定非営利活動法人みどりの会高岡 勉強会	講演「高岡城跡の歴史と整備」	仁ヶ竹主幹
12月6日	富山県生涯学習カレッジ富山地区センター つながる学びわくわく講座<つながるふるさと学び コース>「とやまの魅力」	講演「県内唯一の日本百名城高岡城跡の 真価」	仁ヶ竹主幹
12月16日	二塚地域活性化推進協議会 12月例会 講演会	講演「恒性皇子と二塚の歴史について学 ぼう！」	仁ヶ竹主幹
12月23日	(公財) 高岡市民文化振興事業団 令和5年度高岡市生涯学習センター講座	講演「古写真から見る高岡の歴史」	宇川主任学芸員
令和6年1月26日、 2月9日、3月1日、3月15日	高岡市福岡歴史民俗資料館 令和5年度 古文書講座「古文書から地元の歴史 を学ぶ」(4回)	古文書講座の講師	仁ヶ竹主幹
令和6年2月16日	高岡市ボランティアガイド 保与の会 研修会	講演「高岡関野神社の謎」	仁ヶ竹主幹
令和6年2月18日	高岡市立北般若公民館 文化講演会	講演「続・北般若について」	仁ヶ竹主幹
令和6年2月24日	佐野地区自治振興会 文化講演会	講演「古文書にみる高岡の歴史」	仁ヶ竹主幹
令和6年2月29日	上市町教育委員会 ふるさと町民学園	講演「歴史都市・日本遺産『高岡』の魅力」	仁ヶ竹主幹
令和6年3月23日	金屋町まちづくり協議会 金屋学講座	講演「古文書にみる高岡鋳物師」	仁ヶ竹主幹

② 委員の派遣 計9件

③ 出演 計7件

④ 寄稿 計4件

⑤ 監修・制作協力 計7件

⑥ 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」生徒の受け入れ

- ・日 程 7月11日(火)～14日(金)
- ・実習生 4人(高岡市立牧野中学校)
- ・内 容 実習(資料調査・整理、資料のクリーニング作業、受付業務など)

⑦ 小中学生向けの自由研究、調べ学習をサポート「教えて！学芸員」の実施(夏休み期間)

- ・日 程 ①8月2日(水) ②8月13日(日)
- ・参加者 2人(①高岡市立高陵小学校4年生、②金沢大学附属中学校2年生)
- ・内 容 ①高岡古城公園の水堀や高岡城の歴史について
②高岡城の築城経緯やその歴史について それぞれ学芸員が質問に回答

⑧ 博物館実習生の受け入れ

- ・日 程 12月5日(火)～14日(木) [8日間]
- ・実習生 1人(日本大学生物資源科学部)
- ・内 容 実習(古文書の撮影・調査・整理、展示作業手伝い、受付業務など)

⑨ 資料貸出 計5件

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
1	帳場格子、大福帳等	3点	土蔵造りのある山町筋まちづくり協議会	於・高岡市土蔵造りのまち資料館【継続】
2	獅子頭（内免神明町獅子舞保存会寄贈）	1点	内免神明町自治会	内免神明町公民館に常設展示【永年貸与】
3	北前船関係資料	12件23点	伏木観光推進センター	於・高岡市伏木北前船資料館【継続】
4	伝近藤勇所用紺糸威二枚胴具足（大本山国泰寺蔵、当館寄託）、山岡鉄舟屏風	3件5点	合同会社京都村正	新選組結成160年記念連携イベント「山岡鉄舟と近藤勇」～局長の帰還～in 壬生寺（R5.7/7～8/27）
5	『二十四輩巡拝図会』、具足掛け、展示台	3点	国宝指定記念勝興寺企画展実行委員会	国宝指定記念勝興寺企画展「縁 YUKARI－歴史を支えた人々－」（R5.9/30～11/5）

⑩ 写真提供 計42件

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
1	第1回内国勧業博覧会「高岡銅器鳳紋賞褒賞薦告状」(大橋三右衛門宛)	1点	国想い夢紡ぐ会	中山恭子編 講演録集『国想い夢を紡いで』（全4冊）
2	高岡関係絵葉書、古写真等	10点	高岡ケーブルネットワーク(株)	『歴史都市 高岡ふしぎ帖』シーズン24「昭和グルメ編」(R5.6/5～7/30放送)
3	「越中国高岡関野神社祭礼繁昌略図附録」、高岡関野神社の母衣武者写真8点	9点	高岡ケーブルネットワーク(株)	生中継「令和5年度 高岡御車山祭」(R5.5/1放送)
4	高岡彫刻塗「二匹鯛」	1点	村上邦夫氏	自著『村上九郎作 生涯記 改訂版』(R5発行)
5	伝近藤勇所用紺糸威二枚胴具足（大本山国泰寺蔵、当館寄託）、鎧櫃2点	2件3点	合同会社京都村正	新選組結成160年記念連携イベント「山岡鉄舟と近藤勇」～局長の帰還～in 壬生寺（R5.7/7～8/27）チラシ・インスタグラム・ツイッター
6	高峰譲吉肖像、塩原又策肖像（高峰譲吉博士顕彰会蔵、当館寄託）	2点	黒部市歴史民俗資料館	第19回特別展「宇奈月温泉とともに歩んだ人々」(R5.7/21～11/26)図録・ポスター・チラシ・市ホームページ等
7	堀川敬周画・桜井梅室賛《人物十二ヶ月の図屏風》等	3件46点	個人	調査研究
8	伝近藤勇所用紺糸威二枚胴具足（大本山国泰寺蔵、当館寄託）	1点	(株)富山県人社	月刊『富山県人』令和5年7月号（R5.7/1発行）
9	ニシン釜	1点	(株)アキデザイン	高岡市教委文化財保護活用課 高岡再発見プログラム『たかおか解体新書』（たかおかものづくり I 鋳物編）の製作
10	堀田家文書のうち南清太郎関係資料	5点	個人	調査研究
11	写真「開港場に指定された当時の伏木港」(明治32年。高岡市蔵)	1点	(株)北日本新聞社	北日本新聞社 webunプラス「きょうの歴史」(R5.7/13公開)
12	「越中伏木港図」(『中越商工便覧』より)等	3点	(株)ROLE	ウェブサイト「KONBUHOUSE」
13	高峰譲吉肖像（高峰譲吉博士顕彰会蔵、当館寄託）	1点	(一社)黒部・宇奈月温泉観光局	ホームページ
14	藤井能三肖像（個人蔵）	1点	富山県公文書館	令和5年度 富山県置県140年記念 国立公文書館所蔵資料展「日本の近代教育のあゆみと富山」(R5.10/5～11/7)
15	年未詳五月三十日付前田利長書状（駒井中務少輔他一名宛）	1点	高岡伝統産業青年会	ホームページ・クラフトイベント「ツギノテ」告知リリース記事
16	前田利長画像（長光寺本複製）	1点	(株)北國新聞社	『加賀茶道のみやび』(R5.11/1発行)
17	絵葉書「高岡銀行」(棚田書房発行。1912～18年頃)	1点	高岡御車山会館	企画展「山町探訪－御馬出町編－」(R5.9/6～R6.1/31)
18	高岡古城公園航空写真（北より）	1点	(株)よしもとブロードエンタテインメント	BSよしもと「キクテレミラジ265」(R5.9/6放送)
19	「越中国高岡関野神社祭礼繁昌略図附録」	1点	氷見市立博物館	氷見市立博物館・(台湾)高雄市立歴史博物館 共同交流展「海を渡る獅子舞－氷見獅子と高雄戯獅甲」(R5.11/16～R6.3/17)

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
20	国民服(上下)	2点	(株)エディキューブ	『日本の化粧の変遷100年』(株)玄光社、R5.11/27発行)
21	高峰譲吉肖像(高峰譲吉博士顕彰会蔵、当館寄託)	1点	(株)ゴールドシップ	BSテレビ東京「秘境黒部の100年」(R5.12月末放送)
22	一般用米穀類購入通帳	1点	(株)エディキューブ	『和食とは何か(仮題)』(株)山川出版社)
23	磁石式電話機	3点	(株)バンエイト	BSフジ「もしもで考える…森田健作のなるほど! なっとく塾」(R5.11/18放送)
24	「高岡北部耕地整理組合(源区)耕地整理施行後之図写」(昭和9年3月6日写)	1点	畑文夫氏	先祖・畑正吉の経歴調査
25	「日本商工業別明細図之内 富山県高岡市」(昭和28年)	1点	(株)アキデザイン	澤川鍛造工業(株)創業120周年記念ビデオ
26	高岡古城公園本丸野球場写真	5点	(株)北日本新聞社	北日本新聞連載「人生のあとさき」掲載(R6.1月掲載)
27	江戸時代前期の高岡町(当館常設展ガイドブックより)	1点	横田宮の腰自治会	高岡市ポケットパークに高岡の歴史として掲示
28	高峰譲吉肖像(高峰譲吉博士顕彰会蔵、当館寄託)	1点	(株)北日本新聞社	北日本新聞朝刊(R6.1/1掲載)
29	高岡大仏小型尊像	1点	(株)中日新聞社	北陸中日新聞新年企画記事(R6.1/1掲載)
30	高岡紡績(株)写真	2点	高岡ケーブルネットワーク(株)	『歴史都市 高岡ふしぎ帖』シーズン25「高岡綿場編」(R6.2/5～3/31放送)
31	渋沢栄一書扁額「博施於民而能済衆」	1点	清水建設(株)	社内イントラネット「渋沢翁の教え(論語講義編)」(R6.1月公開)
32	堀田一善氏講演会写真(於・当館、2018年)	6点	堀田善衛の会	『堀田善衛論集』(R6.4月発行)
33	「関野庄右衛門」絵図(『中越商工便覧』より)	1点	富山テレビ放送(株)	とやま国際センター日本海学推進機構「日本海学ホームページ」等で配信する、富山湾映像(ます寿司をテーマとした動画)
34	前田利長画像(長光寺本複製)	1点	加能地域史研究会	『シリーズ「地方史はおもしろい」07 石川編』(仮称) (R6.10月発行予定)
35	発売当初のタカザアスターゼ(高峰譲吉博士顕彰会蔵、当館寄託)	1点	(株)美和企画	『世界を変えた薬』(講談社、R6.5/23発行)
36	吠	1点	tysテレビ山口	テレビ山口「mix」(R6.2/20放送)
37	箱枕	1点	(株)フジテレビジョン	フジテレビ「めざまし8」(ニュースわかるまで解説「殿様枕症候群に注意!」)(R6.2/21放送)
38	メンパ、漁師弁当	2点	大紀元時報	「大紀元時報」新聞・ウェブサイト(R6.3月掲載)
39	渾天儀(江戸後期)	1点	(株)エディキューブ	『TJ MOOKビジュアルでわかる 図解 陰陽師 入門』(R6.4/8発行)
40	砺波郡御巡検御道筋手絵図(安政3年)	1件10点	個人	調査研究
41	帝国館(小馬出町、1937～38年)	1点	(株)北日本新聞社	北日本新聞社 Webunプラス、紙面掲載
42	当館外観写真	1点	(株)ミュージアムピック	全国の博物館施設、文化施設の訪問記録・スタンプラリーサービス(web版のご朱印帳)リリースのための施設紹介ページに掲載(R6.5月公開)

⑪ 資料撮影・掲載 計5件

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
1	高岡鋳物師・高森家文書(当館寄託)のうち、鋳物師由緒・取決関係文書3点、釣鐘関係文書2点、鍋釜関係文書2点	7点	島根県教育庁文化財課	島根県古代文化センター「鋳物と鋳物師の研究」業務にかかる調査研究
2	伏木地区絵図等資料のうち、伏木関係絵図	8点	合同会社AMANE	国宝指定記念勝興寺企画展「縁 YUKARI -歴史を支えた人々-」(R5.9/30～11/5)図録
3	須賀月真工房蠟型鑄造製作用具のうち、陶製型	3点	奈良文化財研究所	科学研究費「土製鋳型を中心とした冶金関連資料による東アジア冶金史学の構築」、日本文化財科学会第40回大会でのポスター報告に伴う要旨集・ポスター掲載
4	尾竹三兄弟(越堂・竹坡・国観)資料	10点	泉屋博古館東京	尾竹三兄弟の調査研究
5	今庄家秘篋 桜霜巻、藤本弘書簡(保科斎彦宛)	2点	F&Aの会	会報紹介

⑫ その他の協力

- ・(公財)日本城郭協会「日本100名城スタンプラリー」(平成19年6月2日～)
- ・高岡テクノドームへの博物館サテライトギャラリーの実施(平成30年10月1日～)
- ・とやま呉西圏域連携事業 歴史文化の学び交流事業「交流講座」への講師派遣協力(令和3年10月より継続)
- ・富山くすりフェア実行委員会 富山くすりフェア「謎解きイベント」開催による謎解きキット2種の設置(令和3年度より継続)
- ・高岡市広報発信課 高岡市ラジオ広報『PICK UP! たかおか』(株)ラジオたかおか 館蔵品展「昔の道具とくらし」(5月12日放送)、企画展「富山新聞創刊100年記念 松原秀典展」(12月1日放送) 展示紹介・出演
- ・高岡ケーブルネットワーク(株)番組『歴史都市 高岡ふしぎ帖』シーズン24「昭和グルメ編」(第1、3～4話/6月5日～7月30日放送)、シーズン25「よっさストラット編」(第1～2、4話/10月16日～12月10日放送)、シーズン26「綿とニシン編」(第1～4話/令和6年2月5日～3月31日放送) 資料提供・出演
- ・北日本放送(株)(KNBラジオ)『とれたてワイド朝生!』内「歴史都市高岡・まちとひと」コーナー 特別展「浮世絵に描かれた加越能～佐伯コレクションの世界～」展示紹介・電話出演(7月18日放送)
- ・北日本放送(株)(KNBテレビ)『news every.』内 特別展「浮世絵に描かれた加越能～佐伯コレクションの世界～」展示特集(佐伯孝夫氏と当館学芸員の同時出演/7月19日放送)
- ・高岡商工会議所「藤子・F・不二雄先生のふるさとたかおか GO!GO!スタンプラリー2023」スタンプ設置(7月24日～8月31日)
- ・北日本放送(株)(KNBラジオ)『高原兄の5時間耐久ラジオ』内 特別展「浮世絵に描かれた加越能～佐伯コレクションの世界～」展示紹介(佐伯孝夫氏と当館学芸員の同時出演/8月12日放送)
- ・高岡市広報発信課 高岡市行政情報番組『もっと!ホット!高岡』(高岡ケーブルネットワーク(株)製作) 特別展「浮世絵に描かれた加越能～佐伯コレクションの世界～」展示紹介(佐伯孝夫氏と当館学芸員の同時出演/8月28日～9月3日放送)、企画展「富山新聞創刊100年記念 松原秀典展」展示紹介(12月11日～12月17日放送)、館蔵品展「昔の道具とくらし」展示紹介(令和6年3月11日～3月17日放送)
- ・高岡市教委文化財保護活用課 たかおか再発見プログラム『たかおか解体新書』(たかおかものづくりI 鋳物編スタンプラリー)スタンプ設置(9月16日～令和6年3月31日/59人)

- ・飛越能経済観光都市懇談会「飛越能ユネスコ5大祭スマホでスタンプラリー」（10月20日～12月19日）でのスタンプラリースポットの協力
- ・高岡市景観みどり課「歴まちカード」（高岡市）設置・配布協力（10月27日～）
- ・TO2「オタヤdeヲタコスin高岡」（11月19日）開催にかかる撮影スポットの協力
- ・富山県教育委員会生涯学習・文化財課 令和6年能登半島地震に係る被災文化財の今後の対応等にかかる意見交換・情報提供
- ・「北陸3県周遊デジタルスタンプラリー」（令和6年1月6日～3月31日）でのスタンプラリースポットの協力
- ・（公財）日本城郭協会「日本100名城 城カード」の設置・販売協力（令和6年1月24日～）
- ・FMしろいし（北海道札幌市）（ラジオ）「電波で繋ぐ北前船 ～チェンバリスト明楽みゆきの浪漫飛行～」（当館の紹介、高岡城、高岡鋳物と加賀藩についてなど解説）出演（令和6年3月15日放送）

（7）レファレンス

高岡の歴史・文化などに関する照会・回答 115件

（8）インターネット等による広報・普及

- ・ホームページ 年間総アクセス数 291,477件
- ・全国の博物館・美術館収蔵資料データベース「文化遺産オンライン」（文化庁運営）への資料情報公開件数 計1,348件
- ・発行済の館報「博物館だより」（30件）、展示解説「博物館ノート」（10件）の公開
- ・当館公式X（累計ポスト12,898回、フォロワー1,809人）
- ・フェイスブック（累計投稿4,082回、フォロワー2,422人）による広報
- ・当館関連記事掲載 計187件
- ・当館案内リーフレット〔①日本語版 ②英語版 ③中国語（簡体字）版〕の館内配架及びネット公開
- ・当館収蔵展示資料の撮影、ネットへの公開を個人利用に限り許可（平成29年2月4日～）
- ・当館が所蔵（保管）する一括資料目録のネット公開（令和元年11月～）

3 収集・保存活動

(1) 購入資料 (計14件14点。受入順)

No.	資料名称	数量	分類
1	年未詳6月3日付 前田利常書状(勝興寺14世光昌院宛)	1	歴史
2	弁当掛け紙(高岡駅・宮嶋商店「赤飯弁当」)(平成元～10年頃)	1	民俗
3	閑雲(真巖国常)賛、東山画《紙本墨画南極星図》(嘉永7年)	1	美術
4	閑雲(真巖国常)筆《絹本墨書般若心經》(嘉永7年)	1	美術
5	『展観目録』(林忠正旧蔵品売立目録)(昭和4年頃か)	1	歴史
6	引札「伏木湊川ノキワ 水戸半右衛門」(明治中期以降)	1	民俗
7	年未詳〔慶長14年(1609)〕5月1日付 徳川秀忠書状(前田利長宛)	1	歴史
8	堀川敬周筆《紙本彩色恵比寿図》(江戸後期)	1	美術
9	勝興寺19世法薫筆《絹本墨書執持鈔抜書》(文化10年9月)	1	美術
10	勝興寺26世准性筆《毛織阿弥陀如来読経起》(昭和40年頃)	1	民俗
11	「高岡打綿株式会社担保品入札目録」(大正7年9月)	1	歴史
12	高岡産業博覧会広告消印葉書(昭和25年4月14日付)	1	歴史
13	絵葉書「万葉のふるさと」(カラー印刷)	1	歴史
14	富山県産業組合第一病院案内(※リーフレット。昭和11年創立。高岡市西郊外木津)	1	歴史

(2) 寄贈資料 (計44件753点。受入順。一括資料は仮に100点と計上)

No.	資料名称	数量	分類	寄贈者
1	砺波郡中保村文書(近世～現代)	24	歴史	中保自治会
2	「富山県 都市地図 高岡市」(昭文社発行。タトウ付。昭和59年。1/18,000)	1	歴史	匿名希望
3	「重要民俗資料 高岡御車山」リーフレット	1	歴史	
4	「旅行の栞」(富山県立高岡高等女学校。昭和10年)	1	歴史	
5	『富山県名士録』(昭和27年)	1	歴史	
6	俳誌「オクヤマ」(大正4～6年)	17	歴史	
7	俳誌「懸葵」〔①第4巻第12号(明治41年2月)、②創作号・第11巻第11号(大正4年1月)〕	2	歴史	
8	絵葉書「伏木神社」(伏木港北村書店発行。明治40～大正7年頃。未使用)	1	歴史	
9	伏木絵葉書(大正7～昭和7年頃。未使用)	6	歴史	
10	絵葉書「高岡関野神社」(棚田書房発行。未使用)	1	歴史	
11	株券〔①高岡理化学工業株4枚(大正5年)②高岡合板株5枚(大正8年)〕	9	歴史	
12	版木「細末昆布」(高岡市・岡本小右衛門)	1	民俗	
13	真巖国常(雪莊)筆《七律》(江戸後期)	1	美術	
14	摂政宮陸軍特別大演習視察写真(大正13年)	6	歴史	堀 正人氏
15	高岡市二番町「組合名簿」(昭和10年)	1	歴史	吉村良則氏
16	ツブラ(飯櫃用。稲藁製)	1	民俗	竹村昌作氏
17	配置葉箱(越中高岡 正村五平。明治～大正期頃)	1	民俗	藤井理行氏
18	ところてん突き(平成9～10年頃)	1	民俗	匿名希望
19	木村玄外作《波に魚文乾漆皿》(昭和期)	1	民俗	
20	日中戦争に際し政府へ金売却に付き感謝状(昭和14年10月25日付)	1	歴史	加藤 孝氏
21	高岡警察署施設社会奉仕会事業資金寄付領収証(昭和17年12月9日付)	1	歴史	
22	高岡仏壇金具師・津田家資料(明治～平成期)	(一括)	民俗	津田興世氏
23	看板「福岡銅器製造所」(昭和17～18年頃)	1	民俗	福岡良子氏
24	小型蓄音機(カメラフォン)(大正～昭和期)	1	民俗	内島宏和氏
25	プロジェクター (オリンパスペン・スライドプロジェクター 2型)(オリンパス光学工業株。昭和中期)	2	民俗	
26	筏井竹の門等関連資料	14	歴史美術	武田伸莊氏

No.	資料名称	数量	分類	寄贈者
27	越中砺波郡行兼村 村御印(寛文10年9月7日付)	1	歴史	吉江 等氏
28	越中砺波郡行兼村代肝煎仰付方願書(安政2年5月)	1	歴史	
29	伏見宮殿下染毫下賜等に付礼状[(近代) 1月元旦]	1	歴史	
30	新川県管下第20大区小4区砺波郡行兼村耕地見取絵図(近代)	1	歴史	
31	高岡市戸出旧家・杉本家文書	(一括)	歴史	杉本和明氏
32	高岡市御旅屋町・正村五平家資料	(一括)	歴史	(有)タイヨー
33	賞状・証書類(近代)	(一括)	歴史	匿名希望
34	地券(近代)	(一括)	歴史	
35	「新版東京大相撲写真番付」(昇新堂発行。横綱・太刀山、同梅ヶ谷。明治44年6月9日)	1	歴史	
36	恩賜煙草(近代。2箱14本。1箱は未開封)	14	歴史	
37	〔慶長13～16年(1608～11)〕7月10日付 前田利長書状(篠原長次宛)	1	歴史	小竹史剛氏
38	前田利常書状(宛所不明)年未詳1月23日付	1	歴史	
39	堀川敬周筆《紙本彩色四季山水図屏風》(江戸後期)	2	美術	
40	射水郡二上村字限絵図(17枚組。手彩色)	17	歴史	匿名希望
41	射水郡二上村山林地引図帳(1冊15図。手彩色)	15	歴史	
42	射水郡西藤平蔵村・平野家文書	(一括)	歴史	西藤平蔵自治会
43	「高岡開闢由来記」(写)(幕末～明治初期頃か)	1	歴史	匿名希望
44	西砺波郡福岡町大字三日市村地引絵図(近代)	1	歴史	大野自治会

(3) 移管資料 (計1件228点)

No.	資料名称	数量	分類	移管元
1	読売ニュース焼付版(昭和18～同20年)	228	歴史	高岡市教育センター

収蔵資料分類一覧表

資料別大分類			区分	件数	点数
I 歴史資料	1,209件	14,041点	1. 歴史資料	1,209件	14,041点
II 民俗資料	1,167件	8,001点	1. 衣食住 2. 交通 運輸 通信 3. 民俗芸能 娯楽 遊戯等 4. 人生儀礼 5. 交易 6. 民俗知識 7. 年中行事 8. 社会生活 9. 信仰	507件 63件 227件 26件 155件 28件 33件 16件	3,934点 109点 2,138点 62点 897点 446点 60点 30点
III 産業資料	481件	8,341点	生産 生業資料	481 件	8,341点
IV 美術資料	625点	1,321点	1. 金工 2. 漆芸 3. 陶芸 4. 木竹石工 5. 染織 6. 日本画 7. 洋画・版画 8. 彫刻 9. 書	91件 106件 53件 4件 5件 167件 47件 22件 130件	113点 189点 101点 28点 5点 323点 125点 23点 414点
総 計	3,482件	31,704点		3,482件	31,704点

(4) 保存活動

展示室・収蔵庫等の温湿度管理、裏打・軸装、桐箱作成、中性紙封筒・箱での保存、収蔵庫清掃、害虫侵入対策、二酸化炭素ガスによる資料燻蒸等

4 調査・研究活動

- ・収蔵資料及び未調査資料の調査整理（調査・整理・登録・撮影・データベース化等）
 - ・収蔵資料の収集・分類・整理方針にかかる調査研究
 - ・今後の企画展（特別展・館蔵品展等）、常設展にかかる調査研究
 - ・国登録有形民俗文化財「高岡鋳物の製作道具及び製品」の国指定重要有形民俗文化財指定にかかる当館収蔵鋳物資料の調査
 - ・収蔵資料情報のデジタル化による資料管理（デジタル・アーカイブの推進）
 - ・「産学官連携に基づいた地域資料継承支援事業」による高岡市伏木地区の古文書等歴史資料の調査研究
 - ・その他の調査・研究
 - ・各種研究会・研修会、講座等への参加 計7件
- 〔日本博物館協会北信越支部・北信越博物館協議会〕第65回総会・研究協議会（6月1日～2日／長野市）
- 〔日本博物館協会〕令和5年度全国博物館長会議（7月5日／東京都）
- 〔文化庁・国立教育政策研究所〕令和5年度ミュージアム・トップマネジメント研修（9月27日、29日／オンライン受講）
- 〔民俗資料保存活用研究会〕フォーラム「フランスから考える民俗資料の収集保存と活用方法」（10月／オンライン受講）
- 〔文化庁〕令和5年度 文化をつなぐミュージアム研修（12月／オンライン受講）
- 〔日本博物館協会〕フォーラム「新登録制度の拡充による博物館の充実に向けて」（令和6年2月29日／オンライン受講）
- 〔文化庁〕令和5年度 ミュージアムPR研修（令和6年3月6日～8日／オンライン受講）

5 高岡市立博物館に親しむ会との連携

高岡市立博物館に親しむ会は、博物館の活動を支援するほか、高岡の歴史と文化に親しみ、相互に親睦を図る活動を行うことを目的に平成25年3月6日に設立されたものである。郷土高岡への理解を深め、市民に親しまれる新しい博物館づくりを進めている。

○会員数 255人〔一般232人(237口)、賛助23人(25口)〕

○各部会、役員会の開催

・広報部会 5月25日(木)、11月17日(金)、令和6年1月24日(水)

・ワークショップ部会 令和6年2月1日(木)

・研修部会 令和6年2月20日(火)

・役員会 令和6年3月21日(木)

○事業内容

◇総 会 4月20日(木) 午後1時30分～2時

出席者数 27人

◇講演会 同 日 午後2時～3時30分

演 題 「北陸の工芸－高岡と金沢を中心に－」

講 師 唐澤 昌宏氏(国立工芸館 館長)

出席者数 48人

◇呈茶席－博物館で抹茶を楽しみませんか－(全て土曜。全8回／参加者累計256人)

〔春〕4月22日 37人、5月13日 24人、5月20日 20人、5月27日 22人

〔秋〕9月16日 15人、9月30日 59人、10月7日 44人、10月14日 35人

(時間) 各日午前11時～午後3時

(協力) 西 範子氏(同会ワークショップ部会長。裏千家教授) ほか

◇郷土史を訪ねて「歩く博物館－1万歩ウォークでふるさと再発見－」(全4回／参加者累計67人)

回	日 時	内 容	参加人数
1	5月12日(土) 午前9時45分～午後1時	第1回(通算第37回)「国泰寺と坐禅とたけのこ料理」(現地集合)	15人
2	6月28日(水) 午前9時15分～午後1時	第2回(38)「勝興寺と国庁跡を巡る」(JR・徒歩)	23人
3	10月5日(木) 午前9時45分～正午	第3回(39)「瑞龍寺の魅力に触れる」(現地集合)	13人

講師 いずれも樽谷雅好氏(研修部会長)



呈茶席（春）



歩く博物館「瑞龍寺の魅力に触れる」

◇高岡古文書ボランティア（全て土曜。全12回／参加者累計109人）

（通算87回）4月14日 9人、(88)5月19日 5人、(89)6月17日 9人、(90)7月15日 11人、
 (91)8月19日 6人、(92)9月15日 7人、(93)10月20日 8人、(94)11月18日 8人、(95)12月16日 12人、
 (96)令和6年1月20日 11人、(97)令和6年2月17日 11人、(98)令和6年3月16日 12人
 （時間）各日午後2時～3時30分

◇版画講座－木版画で年賀状を作ろう－（全2回）

日 時	講 師	参加人数
①11月29日（水）、②12月1日（金） 午後1時30分～午後3時	水上悦子氏（木版画講師）	のべ 14 人



高岡古文書ボランティア



版画講座

〔ボランティア活動協力〕

・博物館事業「屋上開放」、親しむ会事業「歩く博物館」・「呈茶席」等 のべ49人

〔広報誌「鍛冶丸」発行〕

・第17号（A4版、800部）

〔クリアファイル作成〕（A4版、400枚）

・3代歌川豊国画《階ヶ嶽龍右衛門》（1847～52年）

〔ミュージアムショップの運営〕

・オリジナルグッズ（トートバッグ、クリアファイル等）の制作と販売
 ・ドラえもんグッズ、郷土史関連図書・図録等の販売

〔役員名簿〕 ※令和6年度総会資料参照のこと

Ⅱ 管理運営の状況

1 職員名簿

職 名	氏 名	任 用
館 長	廣 瀬 由美子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団嘱託職員
主 幹	仁ヶ竹 亮 介	公益財団法人高岡市民文化振興事業団職員
主任学芸員	宇 川 恵 里	公益財団法人高岡市民文化振興事業団職員
学 芸 補 助	山 本 成 子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員（～令和6年2月）
学 芸 補 助	北 野 晶 子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員（～令和6年3月）
学 芸 補 助	鹿 本 航 汰	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員
学 芸 補 助	山 口 貴 子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員（～12月）
事 務 補 助	山 田 玲 子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員

※受付員:山田 早苗、森 朝子（～10月）、林 洋子、坂田 史永子（4月～令和6年3月）、藤巻 千春（4月～）、大谷 鮎子（4月～）、荒木 万紀子（10月～）

2 歳出予算（令和5年度事業別）

（単位：千円）

	事業名	前年度	本年度	差 異
管理費	施設管理費	12,152	11,766	▲ 386
	人件費（事業団職員分のみ）	14,414	14,681	267
	小計	26,566	26,447	▲ 119
事業費	調査研究費	353	353	－
	講演講習会費	340	340	－
	資料整備保存費	6,597	6,597	－
	特別展	1,034	1,034	－
	常設展（企画展等含む）	1,427	1,427	－
	小計	9,751	9,751	－
合 計		36,317	36,198	▲ 119

3 高岡市立博物館協議会

職 名	氏 名	任 用
学識経験者	晒 谷 和 子	元高岡市立博物館館長
	日 和 祐 樹	高岡市文化財審議会会長
	中 葉 博 文	日本地名研究所理事
学 校 教 育	窪 田 俊 介	高岡市小学校長会代表（高岡市立木津小学校長）
	寺 田 恵	高岡市中学校長会代表（高岡市立福岡中学校長）
	出 口 信 夫	高岡地区高等学校長会代表（富山県立高岡南高等学校長）
社 会 教 育	嶋 村 美和子	高岡観光ボランティアガイド「やまたちばな」副会長
	米 澤 陽 子	地域女性ネット高岡会長
	坂 林 彩 未	高岡市 PTA 連絡協議会副会長
そ の 他	竹 中 伸 行	伝統工芸高岡銅器振興協同組合理事長
	柴 田 治 之	伝統工芸高岡漆器協同組合理事長
	本 永 武 志	高岡商工会議所青年部理事

〔敬称略・順不同。任期2年（令和6年2月1日～令和8年1月31日）〕

4 高岡市立博物館条例

平成17年11月1日
条 例 第206号

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)に基づき、高岡市立博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 高岡市立博物館
位置 高岡市古城1番5号

(事業)

第3条 博物館は、歴史、民俗、産業などに関する資料を収集し、保管し、及び展示して、教育的配慮のもとに一般公衆の利用に供し、その教養、調査、研究等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究を行うものとする。

(博物館協議会)

第4条 法第20条第1項の規定に基づき、高岡市立博物館協議会を置く。

2 高岡市立博物館協議会は、委員12人以内をもって組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験を有する者

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

(指定管理者による管理)

第4条の2 博物館の管理は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項に規定する指定管理者(以下「指定管理者」という。)にこれを行わせる。

(指定管理者が行う業務)

第4条の3 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 事業の実施に関する業務
- (2) 利用の許可に関する業務
- (3) 利用に係る料金の収受及び決定に関する業務
- (4) 施設及び設備の維持管理に関する業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、高岡市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が必要と認める業務

(開館時間)

第4条の4 博物館の開館時間は、午前9時から午後5時までとし、展示室へ入室できる時間は、午後4時30分とする。ただし、指定管理者は、必要と認めるときは、教育委員会の承認を得て、これを変更することができる。

(休館日)

第4条の5 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要と認めるときは、教育委員会の承認を得て、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日以外の日)
- (2) 12月29日から翌年の1月3日までの日

(観覧料)

第5条 博物館の展示資料を観覧しようとする者が、博物館の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)として納める観覧料は、無料とする。

2 前項の規定にかかわらず、特別展示等を行う場合の観覧料は、指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得て別に定める。

3 前項の観覧料は、指定管理者に観覧の際、前納しなければならない。

(施設の利用)

第6条 博物館の施設のうち次に掲げるものを利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない

附 則(平成17年12月22日条例第272号)

(施行期日)

1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、改正前の高岡市立博物館条例第6条の規定によりなされた許可は、改正後の高岡市立博物館条例第6条の規定によりなされた許可とみなす。

附 則(平成19年3月22日条例第17号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月22日条例第10号)抄

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、第1条及び第5条から第12条までの規定は、平成24年4月1日から施行する。

(高岡市立博物館条例の一部改正に伴う経過措置)

5 この条例の施行の際現に第2次一括法による改正前の博物館法(昭和26年法律第285号。以下「旧博物館法」という。)第21条の規定により高岡市教育委員会が任命した高岡市立博物館協議会の委員(以下この項において「旧委員」という。)である者は、施行日に第8条の規定による改正後の高岡市立博物館条例(以下この項において「新条例」という。)第4条第3項の規定により高岡市立博物館協議会の委員として任命されたものとみなす。この場合において、その任命されたものとみなされる委員の任期は、新条例第4条第4項の規定にかかわらず、施行日における旧委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。い。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

(1) 企画展示室(展覧会等開催のため第1企画展示室、第2企画展示室及び第3企画展示室を占用して利用する場合に限る。)

(2) 茶室

(利用の制限)

第7条 指定管理者は、前条の規定により利用の許可を受けた者(以下「利用者」という。)が次の各号のいずれかに該当するときは、利用の許可を取り消し、又は利用を停止することができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。
- (2) その利用が博物館の目的に適しないと認めたとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、博物館の管理上特に必要があると認めるとき。

2 前項の規定による処分をした場合において利用者に損害が生ずることがあっても、指定管理者は、その責めを負わない。

(利用権の譲渡等の禁止)

第8条 利用者は、利用の権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(原状回復の義務)

第9条 利用者は、博物館の施設の利用を終了したときは、直ちに原状に回復しなければならない。第7条第1項の規定により、利用の許可を取り消されたときも、同様とする。

(入館の制限)

第10条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を制限し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけるおそれがあると認められる者
- (2) 展示品又は施設、設備等を損傷するおそれがあると認められる者
- (3) 博物館の管理上必要な指示に従わない者

(施設利用料)

第11条 利用者は、利用料金として別表に掲げる額の範囲内で指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得て定める額の施設利用料を納めなければならない。

2 施設利用料は、利用許可の際、納入しなければならない。

(施設利用料の減免)

第12条 指定管理者は、教育委員会規則の定めるところにより、施設利用料を減額し、又は免除することができる。

(施設利用料の不還付)

第13条 既納の施設利用料は、還付しない。ただし、指定管理者は、特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を還付す

ることができる。

(利用料金の収入)

第14条 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(損害賠償)

第15条 利用者は、建物その他付属設備、器具等を損傷し、又は滅失したときは、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を免除することができる。

(委任)

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年11月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)の前日までに、合併前の高岡市立博物館条例(昭和45年高岡市条例第23号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定

によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

附 則(平成26年3月20日条例第52号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

別表(第11条関係)

名 称	施 設 利 用 料	
企画展示室	1日につき	9,900円
茶 室	1日につき	4,400円

備考

- 1 冷房又は暖房利用料は、施設利用料の2割に相当する額とする。
- 2 利用に際し、入場料又はこれに類するものを徴収する場合は、施設利用料の5割に相当する金額(入場料又はこれに類するものが1,000円以下の場合にあっては、3割に相当する金額)を加算する。
- 3 施設利用料の算定に当たって、10円未満の端数を生じたときは、当該端数は切り捨てるものとする。

5 高岡市立博物館条例施行規則

平成17年11月1日

教育委員会規則第39号

(趣旨)

第1条 この規則は、高岡市立博物館条例(平成17年高岡市条例第206号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(協議会の組織)

第2条 条例第4条に規定する高岡市立博物館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選により定める。

2 会長及び副会長の任期は、委員の任期による。

3 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議の招集)

第3条 会議は、必要に応じ会長が招集する。

(議事)

第4条 協議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(利用許可の申請)

第5条 条例第6条の規定により、高岡市立博物館(以下「博物館」という。)の施設の利用許可を受けようとする者は、利用許可申請書を指定管理者に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、利用期日(利用しようとする日が引き続き2日以上であるときは、その初日)の6箇月前から2週間前までの間に提出しなければならない。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(利用の許可)

第6条 指定管理者は、博物館の施設の利用を許可したときは、利用許可書を交付するものとする。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成17年11月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日の前日までに、合併前の高岡市立博物館に関する規則(昭和45年高岡市教育委員会規則第6号)の規定によりなされた手続その他の行為は、この規則の相当規定によりなされた手続その他の行為とみなす。

附 則(平成17年12月22日教委規則第61号)

(施行期日)

1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日の前日までに、改正前の高岡市立博物館条例施行規則の規定によりなされた手続その他の行為は、改正後の高岡市立博物館条例施行規則の規定によりなされた手続その他の行為とみなす。

(利用許可の取りやめ及び変更)

第7条 利用の許可を受けた者は、利用の取りやめ又は変更について許可を受けようとするときは、利用取りやめ(変更)申請書を指定管理者に提出しなければならない。

(施設利用料の減免)

第8条 条例第12条の規定により、施設利用料の減免を受けようとする者は、施設利用料減免申請書を指定管理者に提出しなければならない。

2 施設利用料の減免の範囲及び割合は、別表のとおりとする。ただし、指定管理者が特に必要があると認めて高岡市教育委員会の承認を得たときは、この限りでない。

3 施設利用料の減免額の算定に当たって、10円未満の端数を生じたときは、これを10円として計算する。

(施設利用料の還付)

第9条 条例第13条ただし書の規定により施設利用料を還付する場合は、次の各号に掲げる区分に応じ当該各号に定めるところによる。

(1) 条例第7条第1項第3号の規定により、指定管理者が利用許可を取り消したとき全額を還付する。

(2) 災害その他不可抗力により利用することができなくなったとき 全額を還付する。

(3) 前2号に掲げるもののほか、指定管理者が還付を必要と認めるとき8割相当額を還付する。

(補則)

第10条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

別表(第8条関係)

企画展示室、講堂及び茶室の施設利用料(冷暖房利用料は除く。)を減免する場合

利用区分	減免率
市又は教育委員会の主催する場合	100%
市又は教育委員会の共催する場合	50%

6 入館者数（「小人」は中学生以下。単位：人）

①常設展「高岡ものがたり -楽しく知ろう!ひらめき・ミュージアム-」

会期：4月1日（土）～令和6年3月31日（日）（開催日数310日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
15,452	2,028	12,092	1,592	31,164

②館蔵品展「昔の道具とくらし」

会期：4月1日（土）～7月9日（日）（開催日数87日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
3,749	531	3,247	482	8,009

③特別展「浮世絵に描かれた加越能 ～佐伯コレクションの世界～」

会期：7月29日（土）～10月9日（月・祝）（開催日数63日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
3,559	715	2,700	496	7,470

④企画展「富山新聞創刊100年記念 松原秀典展」

会期：11月2日（木）～令和6年1月8日（月・祝）（開催日数54日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
1,453	171	1,418	150	3,192

⑤館蔵品展「昔の道具とくらし」

会期：令和6年2月3日（土）～3月31日（日）（開催日数50日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
2,065	244	1,605	164	4,078

総計（開催延日数564日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
26,278	3,689	21,062	2,884	53,913

過去5年間の入館者数

H30	H31/R1	R2	R3	R4
58,048	63,367	33,960	34,708	49,657

Ⅲ 施設の状況

1 沿革

昭和44年（1969）	市制施行80周年・開町360年記念事業として高岡市美術館（昭和26年築）に隣接して建設することを決定。
	8月 建設設計を完了。
	10月 建設工事を着工。
45年（1970）	3月 建設工事を完了。高岡市立博物館条例を公布。
	6月 高岡市立博物館に関する規則を公布。
	開館。
	8月 高岡市立博物館協議会委員委嘱（12人）。
46年（1971）	2月 博物館法（昭和26年法律第285号）第10条の規定に基づく公立博物館として文部省及び富山県教育委員会に登録。
	10月 淡交会高岡支部より茶室を寄贈される。
平成6年（1994）	4月 美術館の移転分離により、旧美術館棟を博物館棟（現本館）として財産登録。
	高岡市立博物館条例を一部改正。
	8月 高岡市立博物館整備検討委員会設置（以後平成10年1月まで6回会議）。
8年（1996）	4月 財団法人高岡市民文化振興事業団へ管理運営委託。
10年（1998）	2月 高岡市立博物館整備検討委員会により「高岡市立博物館整備検討委員会報告書」が高岡市に提出される。
	10月 本館で常設展「郷土の暮らしと文化」開催。
12年（2000）	新館1階収蔵庫改修工事の実施。
14年（2002）	7月 ホームページを公開。
18年（2006）	4月 財団法人高岡市民文化振興事業団が指定管理者となる。
19年（2007）	7月 常設展を「高岡ものがたり」にリニューアル。
	11月 高岡市立博物館整備構想検討委員会設置（以後平成21年度まで継続）。
20年（2008）	11月 常設展リニューアル以後の入館者3万人を達成。
22年（2010）	2月 高岡市立博物館整備構想検討委員会より「高岡市立博物館整備構想報告書」が高岡市に提出される。
	10月 デジタルアーカイブ推進事業を開始（～平成25年3月）。
23年（2011）	本館収蔵庫改修工事の実施。
	10月 『二上射水神社文書目録』を編集。
24年（2012）	4月 指定管理者の財団法人高岡市民文化振興事業団が公益財団法人に移行。
	10月 「収蔵資料検索システム－あなたの家が博物館－」の運用開始。
25年（2013）	3月 高岡市立博物館に親しむ会設立。
	4月 佐渡家資料調査事業を開始。
	常設展示室に「お宝コーナー」開設。
	6月 常設展「高岡ものがたり」音声ガイド5台導入。
27年（2015）	3月 『佐渡家資料目録』を編集・発行。佐渡家資料調査事業を終了。
	4月 高岡古文書ボランティア部会（親しむ会）設立。
28年（2016）	5月 本館入口付近の壁面等落下のため、本館正面玄関を閉鎖。
	12月 本館正面玄関修繕工事の実施。
29年（2017）	6月 国登録有形文化財「高岡鋳物の製作用具及び製品」の国指定重要指定に向けた当館収蔵鋳物資料の調査開始。
	9月 本館屋根瓦葺き替え工事の実施。
	10月 本館天井張り替え工事の実施。
30年（2018）	10月 博物館サテライトギャラリーの開設（於・高岡テクノドーム）。
31年（2019）	3月 高岡市立博物館に親しむ会が発足5周年を迎える。
令和元年（2019）	11月 博物館が所蔵（保管）する一括資料目録のネット公開を開始。
2年（2020）	4月 新型コロナウイルス感染症拡大のため臨時休館（4/18～5/17）。
	6月 高岡市立博物館開館50周年を迎える。
	8月 高岡市立博物館開館50周年記念 特別展「高岡のお宝展」を開催（8/1～10/11）。
3年（2021）	8月 新型コロナウイルス感染症拡大のため臨時休館（8/18～9/12）。
4年（2022）	7月 高峰譲吉別荘「松楓殿」関係資料展示室の開始（新館第3企画展示室にて通年開催）。
6年（2024）	3月 高岡市立博物館に親しむ会が発足10周年を迎える。

2 施設概要

所在地	富山県高岡市古城1番5号
敷地面積	1,298.6㎡
建築面積	1,214.91㎡
建築延面積	1,905.21㎡
開館	昭和45年6月1日
構造	鉄筋コンクリート造一部木造平屋建て(本館・事務棟) 鉄筋コンクリート造3階建て(新館)



博物館前景

〔本館〕

エントランスホールB	81.00㎡
第1常設展示室	243.00㎡
第2常設展示室	145.80㎡
休憩室	35.64㎡

〔新館1階〕

収蔵庫A	48.50㎡
第1企画展示室	97.20㎡

〔新館2階〕

第2企画展示室	145.80㎡
第3企画展示室	51.84㎡

〔新館3階〕

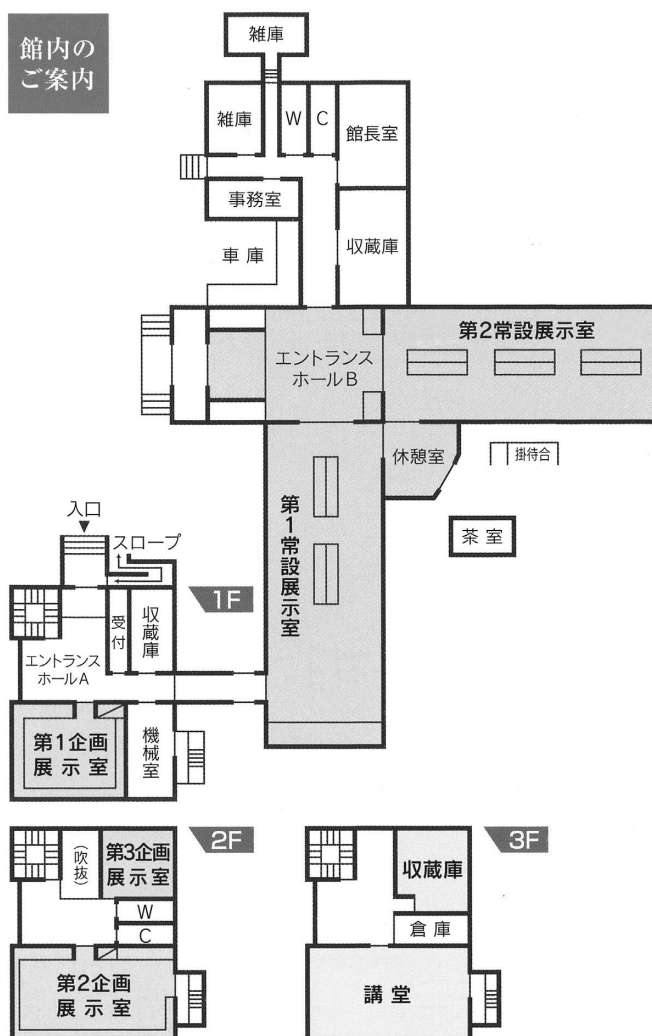
講堂	145.80㎡
収蔵庫C	64.80㎡
展示用具倉庫	17.70㎡

〔事務棟〕

収蔵庫B	48.50㎡
館長室	49.50㎡
事務室	27.50㎡

〔茶室〕

九畳本勝手下座床・水屋付き	29.48㎡
腰掛待合 三畳半	11.08㎡



3 利用案内

- ①開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
②休館日 月曜日（ただし月曜日が祝・休日の場合は開館し、翌平日が休館）
年末年始（12月29日～1月3日）

- ③入館料 無料

- ④施設利用料（税抜）

〔企画展示室〕一日につき	第1企画展示室	3,000円
	第2企画展示室	4,500円
	第3企画展示室	1,500円

〔茶室〕一日につき 4,000円

- ⑤交通

〔JR新高岡駅より〕・南口バス乗り場（1番または2番）で加越能バス「高岡駅」方面に乗車、「高岡駅南口」バス停下車

・JR城端線で高岡駅へ

〔高岡駅より〕・加越能バス「市民病院・職安前」行き、「大手町」バス停下車、徒歩5分

・徒歩約15分（高岡駅前より北東約1km）

〔自動車〕

・能越自動車道 高岡ICから約20分

高岡北ICから約25分

・北陸自動車道 高岡砺波スマートICから約15分

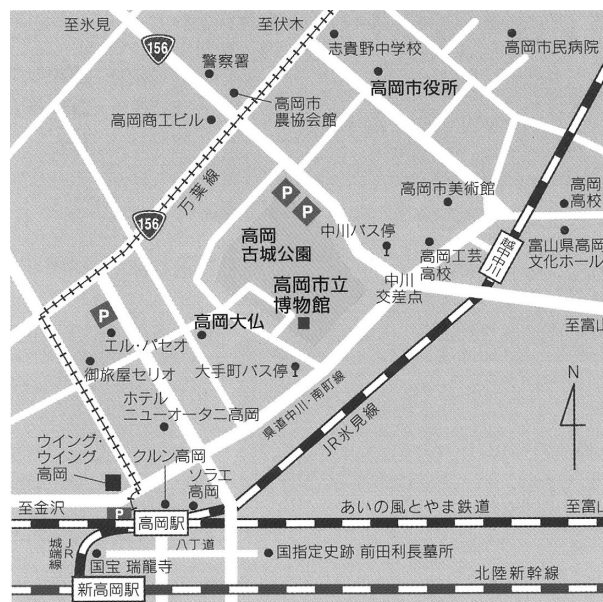
小杉ICから約30分

砺波ICから約30分



茶室「松聲庵」

〔周辺略図〕



高岡市立博物館年報 第38号

令和5年度

発行日 令和7年2月28日

編集・発行 高岡市立博物館
〒933-0044 富山県高岡市古城1-5
TEL : 0766-20-1572
FAX : 0766-20-1570
URL : <https://www.e-tmm.info/>

印刷 キクラ印刷株式会社